令和3年 11 月 19 日 市長記者会見 会議録

＜ 開催時間 ＞　　14:00～

＜ 会 場 ＞　　庁議室（ 市役所本館3階 ）

＜ 会見案件 ＞　　①12 月補正予算の概要
②三里浜ベジフルブラッシュアップ事業
③・新幹線プロモーション課 特命係長 福いいネ!くん 定例活動報告
・新型コロナ和内ン接種に関するお知らせ

＜ 出 席 者 ＞　　市長、副市長、総務部長、財政部長、財政課長、職員課長、地域交通課長、
自転車医療推進課長、おもてなし観光推進課長、学校教育課長、スポーツ課長
園芸センター所長、新幹線プロモーション課長、ワクチン接種推進課長

＜ 発 表 内 容 ＞

【福井市長】
さて、本日は、12月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要、並びに「さんりはまベジフルブラッシュアップ事業」の取組などについてご説明させていただきます。

まず、今回の補正予算案は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の強化や、安全安心な市民生活の確保及び地域経済への支援をはじめ、各種施策を推進するために予算措置が必要になった
事業などについて計上するものです。

補正予算案の規模は、「12月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、
一般会計で、　　4億3,612万2千円
追加いたします。
この結果、補正後の予算総額は、
一般会計で、　1,213億8,208万2千円
全会計では、　2,263億5,088万5千円
となります。

続きまして、職員給与費改定に係る12月補正予算案（その2）につきまして、ご説明申し上げます。

補正予算案の規模は、「12月補正予算案の概要（その2）」の1ページに記載のとおり、
一般会計で、　　1億5,713万1千円
国民健康保険特別会計で、208万7千円
後期高齢者医療特別会計で、60万9千円
介護保険特別会計で、　206万2千円
競輪特別会計で、　162万4千円

宅地造成特別会計で、　　19万7千円
中央卸売市場特別会計で、　92万6千円
集落排水特別会計で、　　29万9千円
地域生活排水特別会計で、　10万8千円
水道事業会計で、　　501万円
簡易水道事業会計で、　　53万8千円
下水道事業会計で、　　591万円
をそれぞれ減額いたします。

この結果、補正後の予算総額は、参考資料に記載の通り
一般会計で、1,212億2,495万1千円
特別会計で、　749億3,889万1千円
企業会計で、　300億1,054万2千円
全会計では、2,261億7,438万4千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】
それでは、お手元の資料「12月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。
まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。
これは、一般会計の財源について表したものでございます。
国庫支出金で　　2億7,387万9千円
県支出金で　　1,810万円
繰越金で　　1億4,337万3千円
諸収入で　　77万円
をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。
これは、一般会計の歳出を款別に表しております。
総務費で　　219万6千円
民生費で　　1億4,896万6千円
衛生費で　　1億6,800万円
農林水産業費で　　677万5千円
商工費で　　2,365万2千円
土木費で　　7,269万円
教育費で　　1,384万3千円
をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。
今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。
第一に、「新型コロナウイルス感染症対応に関する事業」としまして、
まず、「感染拡大防止の強化」のため、
1番 感染症対策事業 1億6,800万円です。
新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、入院の際に発生する医療費を負担するとともに、医療機関において実施したPCR等の検査費用を負担します。

次に、「安全・安心な市民生活の確保」に係る事業です。
2番 地域鉄道緊急支援事業 1,167万円です。
新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益が減少している福井鉄道に対し、沿線3市の福井市、鯖江市、越前市で、安全運行確保に必要な経費の支援を行うものです。

新規 3番 在宅授業用モバイルルーター貸与事業
204万3千円です。
濃厚接触者に該当するなどにより、登校できない児童生徒がオンライン授業を受けられるようモバイルルーターを貸し出すものです。

7ページをご覧ください。
4番 学校教育活動継続支援事業 930万円につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、遠隔授業を含む学校教育活動を円滑に継続していくために必要な物品等を購入するものです。

次に「地域経済への支援」に係る事業です。
新規 5番 観光事業者事業継続支援事業 2,365万2千円です。
新型コロナウイルス感染症の長期化により、観光客が減少し
影響を受けた観光関連事業者の事業継続を支援するものです。

新規 6番 農業者収入保険加入推進事業 677万5千円につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少するおそれのある農業者の経営安定を図るため、収入保険への加入を促進するものです。

8ページをお開きください。
次に「新しい生活様式への対応」に係る事業です。
新規 7番 自転車通勤普及促進事業 5,670万8千円です。
新型コロナウイルス感染症対策として、自転車通勤の普及促進により人との接触低減を図るため、JR福井駅周辺地区において自転車駐輪場の整備を行うとともに、周辺事業者等に向けて自転車通勤の啓発を行います。

新規 8番 シェアサイクル活用促進事業 431万2千円につきましては、有人施設で貸し出している「まちなかレンタ

サイクル『ふくチャリ』」について、ICTを活用し無人でも貸出が可能なシェアサイクルシステムの導入に向けて調査を行うものです。
9ページをご覧ください。
第二に、「各種施策を推進するための取組」でございます。
拡充 9番 ふくい桜マラソン開催準備事業 250万円です。
北陸新幹線福井開業後に開催するフルマラソン大会「ふくい桜マラソン」の機運醸成と参加者の裾野拡大に向けて2年前イベントを実施します。

次に、「子育て支援」に係る事業としまして、
10番 子ども医療費助成事業 3,620万円です。
子ども医療費に対する助成額の増加が見込まれるため、事業費を増額するものです。

11番 児童扶養手当給付事業 1,250万円です。
児童扶養手当の支給額の増加が見込まれるため、事業費を増額いたします。

新規 12番 児童手当給付システム改修事業 3,245万円につきましては、令和4年6月施行の児童手当法一部改正に伴うシステム改修を行うものです。

10ページをお開きください。
「その他」の事業としまして、
13番 電子入札システム管理事業 219万6千円です。
県と県内市町が共同利用している福井県電子調達システムのシステム改修費を負担するものです。

14番 国庫補助金等返還金 6,781万6千円です。
国庫補助金等の超過交付分を返還するものです。

11ページをご覧ください。

第三に、「債務負担行為の設定」でございます。
新規 15番 入札契約DX推進事業 553万円につきましては、オンラインで受付をした入札参加資格申請のデータを工事管理システムで活用するシステム改修を行うため、債務負担行為を設定するものです。

16番 ふくい桜まつり開催事業 4,683万2千円です。
ふくい桜まつりを令和4年3月から実施することに伴い、債務負担行為を設定します。開催に際しては、定期的な消毒、来場者への感染対策の呼びかけなど、感染防止対策を徹底します。

17番 愛宕坂にぎわい事業 338万8千円でございます。
ふくい桜まつりに伴い、愛宕坂等でライトアップやイベントを実施するため、債務負担行為を設定します。

18番 道路舗装事業 5,000万円につきましては、公共工事を翌年度早期に着工し、発注時期の平準化を図るため、

債務負担行為を設定するものです。

12ページをお開きください。
「指定管理者による各施設の運営および維持管理に要する
費用について、債務負担行為を設定」するものとして
19番 伊自良館管理運営事業 3,735万9千円 につきましては令和4年度から6年度まで債務負担行為を設定するものです。

20番 聖苑管理運営事業 3億7,480万円 及び 21番 ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場運営事業
2,385万円 につきましては、令和4年度から8年度まで債務負担行為を設定するものです。

続きまして、お手元の資料「12月補正予算案の概要（その2）」を、ご説明を申し上げます。
まず、1ページにつきましては、先ほど市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。
2ページをお開きください。
一般会計の財源につきましては、
繰越金で、1億5,713万1千円
を減額いたします。

3ページをご覧ください。
一般会計の款別の歳出につきましては、
議会費で、　143万4千円
総務費で、　2,846万8千円
民生費で、　3,816万5千円
衛生費で、　1,381万2千円
労働費で、　53万円
農林水産業費で、645万円
商工費で、　343万1千円
土木費で、　1,554万8千円
消防費で、　2,233万4千円
教育費で、　2,695万9千円
をそれぞれ減額いたします。

4ページをお開きください。
職員給与費の改定としまして、
（1番）一般会計分 マイナス1億5,713万1千円および
5ページの
（2番）特別会計・企業会計分 マイナス1,937万円でございます。
国家公務員および県職員の給与改定に関する勧告等の状況を
踏まえ、職員の給与費を改定します。

以上、令和3年度12月補正予算案の概要につきましてご説明させていただきました。
私からは、以上です。
【広報課長】
それでは、「12月補正予算案の概要」について質疑応答を行います。
ご質問をされる際には、マイクをお渡しいたしますので、社名とお名前の後に、ご質問をお願いいたします。

【日経新聞】
事業の説明の5番観光事業者事業継続支援事業について、対象となるのが旅行業、レンタカー、土産の製造販売と3つの区分になっているのですが、なぜこの3つなのでしょうか。

【財政部長】
この3つについては、一昨年に比べて非常に売り上げが落ち込んでいる業種を選ばせていただいております。

【日経新聞】
コロナで影響を受けた業種は多々あると思うが、市の調査で特にこの 3 業種が影響を受けているということか。

【財政部長】
商工会議所からの情報や、その売り上げで分かっている部分で、特に観光関係でこの3つの業種が非常に落ちているということが分かりましたので、選ばせていただきました。

【日経新聞】
20 万円という金額は、何か根拠があるのでしょうか。

【おもてなし観光推進課】
先ず、なぜこの3つの業種なのかということについて補足させていただきます。観光事業者の中でも宿泊、タクシー事業者については既に6月補正で支援をしております。今までの支援に該当しなかった業種としてこの3つを今回支援の対象にしているということです。金額の根拠ですが、例えば宿泊事業ですと規模に応じて 10 万円から 40 万円という支援額になっております。そのことやその他の様々な支援額を勘案しながら、今回20万円という金額にさせていただいております。

【日経新聞】
今の話を踏まえて、市内の経済状況を市長はどう捉えているのでしょうか。

【福井市長】
市内の経済状況は良くはないが、業種・業態によってはプラスに転じている業種もあり、必ずしもすべてが悪いわけではありません。ただし、支援策を講じる場合、悪いところの業種・業態を選んで対応をとりたいので、商工会議所等からのデータを基に業績の悪い業種をセレクトしました。

【福井テレビ】
新しい生活様式の対応の箇所、自転車通勤普及促進事業について、具体的にはどの辺りの話になるのでしょうか。

【福井市長】
福井駅周辺で、ハピリンの中に１区画と、JR 高架下にある自転車の駐輪場を整備することを考えています。
【福井テレビ】
福井は車社会であるが、駐輪場の整備を行い、自転車利用の促進をしていきたいということについて、市長の考えを聞かせてください。

【福井市長】
今まで福井駅前を中心に有人ステーションを利用して、ふくチャリのレンタサイクルを行ってきました。他の駅前で行っているような、無人ステーションでの自転車の貸出ができないかの研究もしています。
一方で天候の問題もあるが、冬以外の季節では自転車の利用ができることや、コロナ禍の中において外の空間を走ることもあり、自転車利用に向けてシフトしていきたいことから、整備を行うこととしました。

【福井テレビ】
資料には通勤のためと書かれていますが、例えば土日駅前でイベントがあると、駐車場がもう空いていないということも多いと思います。そのような中、現在も駅前に訪れる際には公共交通機関の利用を呼びかけていると思いますが、今後は自転車利用呼びかけもされていくのでしょうか。

【福井市長】
先程も申し上げたように、天候の関係もあり、必ずしも特定のツールを使って出歩いてくださいと呼びかけるのは難しいところがあります。しかし、移動の選択肢が広がるようにやっていきたいとは思っております。

【県民福井】
資料の 7 番、自転車通勤普及促進事業について、人との接触低減を図るためとあるのですが、市民は公共交通機関や車で通勤しているイメージしかなく、福井駅周辺のラックを更新して自転車通勤を促すことで接触低減を図ることができるというイメージができないので、もう少し詳しく教えてください。

【福井市長】
通勤通学について、車を活用するという方もコロナの問題が発生してからは意外と多いです。しかし、このまま車社会に移行することは、新しい生活様式を考えていく上において、若干難しいところがあります。そのため、車通勤に代わるものがないかということで、選択肢を広げるとするなら、自転車をもう少し活用できないかということです。自転車は、外気に当たるわけですから、密という考え方からは外れてくるため、このコロナの時代において、密を回避することができる乗り物だという風に理解しています。

【県民福井】
駅周辺の駐輪場を整備することで自転車通勤が増える、というつながりがよく分からないのですが。

【市長】

自転車の場合、これまでも駅周辺のところに駐輪場ありますが、駐輪場の 2 階の部分が使いにくいとか、満車になっており、なかなか駐輪できないという話なども、これまで聴いております。もう少し使い勝手の良い駐輪場に変えていくということが、とりもなおさず、自転車利用者を増やすということに繋がってくれるのではないかと考えています。

【県民福井】

もう一つ、資料の8番、シェアサイクルシステムの導入について調査を行います、と書いてありますが、導入はいつ頃を見込んでいるのでしょうか。

【福井市長】

調査の出来不出来によって、日程は変わってくると思いますが、できるだけ早く導入できればと思っています。

【県民福井】

これは観光での自転車利用を考えての導入ですか。

【福井市長】

観光利用も考えております。

観光以外には、営業など駅周辺に来る方で短時間の利用を考えている方に向けて、活用できないかなと考えております。

【広報課長】

他にございませんか。よろしいでしょうか。

質疑がないようでございますので、財政部長、席の移動をお願いします。

では、市長、引き続きお願いします。

【市長】

　続きまして、「さんりはまベジフルブラッシュアップ事業」の取組についてご説明いたします。

この事業は、若手職員が「チャレンジ未来予算」を活用し、三里浜砂丘地で栽培される野菜や果樹を本市の特産品とすることを目的とするもので、「商品力ブラッシュアップ」「学生との共働」「プロモーション」の3つの柱で様々な取り組みを行っているところです。

本日はベジフルの一部をこちらに展示しております。

「学生との共働」においては、福井農林高校の生徒さんに、今後植樹するオリーブの苗を、県外から購入したものではなく「ふくい育ちのオリーブ苗」とするため、その育成を手伝っていただきました。

先月31日の三里浜砂丘地収穫祭では、その苗を三里浜オリーブ 2,000 本目の記念として植樹したところです。

そのほか、啓新高等学校の生徒さんには、さんりはまベジフルを使用したメニューの考案を、福井高等学校の生徒さんには、PR ポスターの制作を、仁愛女子短期大学の学生さんには、カーボロネロの新しい名称に合わせたロゴデザインの制作を、それぞれお願いしております。

11月23日には「さんりはまベジフル感謝祭」をハピテラスで開催し、このブラッシュアップ事業の総決算として、取組の成果を発表します。具体的には、啓新高等学校の生徒さんが考案した6つのメニューの試食やふるまい、人気投票を行います。また、福井高等学校の生徒さんが制作して学内で選ばれた6点の PR ポスターのうち最終決定した1点を発表します。6点のポスターは、こちらです。

さらに、仁愛女子短期大学の学生さんが制作したロゴデザインを発表します。いずれも、若いアイデアが盛り込まれた素晴らしい仕上がりとなっております。

その他にも、新たにブランド化を進めるミディトマトの品種別食べ比べなど、盛りだくさんの内容を企画しております。また、同時に今年度最後となる「越前ふくいマルシェ」を、規模を拡大して開催し、農林水産業の魅力を存分に楽しんでいただける催しとなっています。

当日は、充分な感染防止対策を図りながら開催いたしますので、皆様のご来場をお待ちしております。

その他としまして、新幹線プロモーション課 特命係長「福いいネ!くん」のプロモーション活動について報告します。「福いいネ!くん」ですが、これまでハピテラスで開催されたイベントや市内小中学校における出前講座に出向くほか、最近では県の新幹線ダンス発表会や福井駅駅舎見学会において「はぴりゅう」とコラボして、PR 活動を行いました。今後も、様々なイベント等でPRを行う予定ですので、「福いいネ!くん」を見かけたらぜひ声をかけていただきたいと思います。

また、県内だけにとどまらず、今月15日にJR京都駅前広場で開催された「高知市・福井市観光合同プロモーション事業」において、初めて県外で PR を行いました。

さらに、今月6日から東京の上野マルイで開催されている物産展「福いいネ!フェア」でプロモーション活動を行うため、現在、北陸新幹線で東京へ向かっております。

今後も、首都圏での PR 活動を予定しており、「福いいネ!くん」は、特命係長として本市の魅力を県内外で精一杯PRしていきます。

また、本日私も着けておりますが、このような「福いいネ!ロゴマークピンバッジ」を福井県セルプ振興センターが制作し、同センターのほか市役所地下の売店や県庁地下2階の生協などで販売しております。市民の皆様も、ぜひ気軽に着けていただき、一緒に本市の魅力を発信していただきたいと思います。

最後に、新型コロナワクチン接種についてお知らせいたします。

新型コロナワクチン接種については、10月末までに接種対象者の 8 割の方が接種を終えられるよう、取り組みを進めてきたところですが、10月31日には、接種対象者の84.7%の方が2回目の接種を終えられました。これまで、ワクチンの供給が停滞したことなどにより、目標達成を危ぶんだ時期もありましたが、市医師会、市薬剤師会、県看護協会の協力のもと、当初の目標を達成することができました。その後も順調に接種が進んでおり、11月17日時点では、1回目の接種を終えた方が 87.2%、2回の接種を完了した方が85.7%となっています。

また、これまで様々な理由で接種の予約ができなかった方のため、11 月 21 日(日)及び 28 日(日)に、市体育館サブアリーナで予約なしの接種を実施いたします。引き続き予約も受け付けておりますが、ぜひ、この機会に接種を

受けていただき、安心して年末・年始をお過ごしいただきたいと思います。

次に、3回目の追加接種について申し上げます。昨日の新型コロナワクチン接種実施本部会議でもご案内いたしましたが、12月からの医療従事者の接種開始に向け、明日から順次、医療従事者の方へ接種券を発送する予定です。その後、1月には高齢者施設での接種を開始し、次いで高齢者の方への接種を開始する予定です。

高齢者の接種券については、今のところ2回目接種から8か月が経過する2、3週間前を目途に発送したいと考えています。また、接種体制についても、現時点では、1月から集団接種を開始し、その後、高齢者への接種が本格化するタイミングで個別接種を開始したいと考えています。

なお、1・2 回目接種の際、高齢者の予約受付に混乱をきたしたことを踏まえ、3 回目の接種では予約開始当初から電話回線やコールセンター受付窓口を増設します。加えて、新たに各公民館に臨時の予約受付窓口を設置し、高齢者の方が、より身近な場所で予約を行えるようにいたします。今後、市医師会をはじめとする関係団体と協議の上、必要な体制を構築し、接種を希望する市民が円滑に接種を受けられるよう、しっかりと準備を進めてまいります。

私からは、以上です。

＜ 質 疑 応 答 ＞

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。ご質問される際にはマイクをお渡ししますので、社名、名前の後にご質問をお願いいたします。

【福井新聞】

ワクチンの臨時窓口の件について、各公民館に設置ということですが全公民館に設置するのでしょうか。また、その際の予約の受付はどなたが担当するのでしょうか。

【福井市長】

福井市では、ワクチン接種の予約については委託をしています。その委託機関の方たちから各公民館に2名ずつ配置しようと思っております。同じ日に全公民館で一斉に受付を開始するのではなく、日にちを設定して各公民館を順に回るという対応を考えています。

【福井新聞】

そのような対応を取る期間は、いつごろを予定しているのでしょうか。

【ワクチン接種推進課長】

今現在、予約期間は1月の中旬から3月下旬までを予定しております。

【福井新聞】

ありがとうございます。

【福井テレビ】

今の3回目接種の予約を公民館で受け付けることについて、1回目、2回目の接種予約時に混乱したということもあってのことだと思いますが、委託とはいえ、市として負担が増えるのではないかという中で、そのような受付の対応を取った理由を教えていただけますか。

【福井市長】

おっしゃるように、1回目2回目の予約受付の時に、窓口が大変混雑したということも考慮しました。

また、今回の予約時期が1月ということで、雪が降っている可能性もあるため、市民の皆さんが市役所まで足を運ばず、予約ができるようにしたい、ということで検討しました。検討の結果、公民館での接種受付という形が最適だということで、今回こういう体制を組むことになりました。

【福井テレビ】

ありがとうございます。